

会 議 録

(8-1)

会議の名称		令和7年度 第3回粕壁地区地域づくり推進協議会	
開催日時		令和8年3月25日(水曜日)	開 会 午前10時00分
			閉 会 午前11時30分
開催場所		粕壁市民センター2階 大会議室	
議長(会長等)氏名		会長 並木 素生	
出席者	委員氏名	(出席人数：9人)	
		並木 素生、白石 昌三、飯山 雅一、松永 彰、津山 宏一 大貫 義信、笹津 駿輔、五十嵐 真、加藤 輝彦 (欠席) 石川 和明、藤間 眞白、石川 貴雄、鈴木 浩子	
	説明者その他	なし	
事務局	事務局	(出席人数：7人)	
		市民生活部長 飯口 信彦、市民生活部次長 清水 一男 市民生活部参事 矢野 仁史、粕壁地区センター所長 角田 尚之 粕壁市民センター 大澤 恵太、高島 美香、原 昌美	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1) 粕壁市民センターの様子について (2) 中間報告について (スライド投影) 5 意見交換 6 市長コメント 7 その他 8 閉会 <p style="text-align: right;">※(すべて公開)</p>	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		(資料1) 粕壁地区が目指すべき理想の姿と具体的な取り組みについて各委員からの意見(まとめ) (参考資料) 粕壁地区地域づくり推進協議会今後のスケジュール(案)について	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>【1. 開会】</p> <p>会議を公開する旨の報告、傍聴希望者ありの報告。</p>
会長	<p>【2. あいさつ】</p> <p>《並木会長あいさつ》</p>
市長	<p>【3. あいさつ】</p> <p>《市長あいさつ》</p>
事務局	<p>規定に基づき、会長が議長となる旨を報告。</p>
議長	<p>議事録署名人として大貫委員を指名。</p>
議長	<p>【4. 報告事項】</p> <p>報告事項（1）粕壁市民センターの様子について、事務局から説明を 求める。</p>
事務局	<p><資料に基づき説明></p>
議長	<p>報告事項（2）市長への中間報告について、副会長より市長へ報告を 求める。</p>
副会長	<p><スライドに基づき説明></p>
議長	<p>【5. 意見交換】</p> <p>（1）意見交換について、各委員に意見を求める。</p>
委員	<p>現状、地域住民の参加は粕壁市民センター近隣の人々を中心であり、 遠方の住民は粕壁市民センターの利用は難しいという課題がある。 高齢者の移動は最大20分程度が限界と考えられ、この点を踏まえた 対策が必要。 イベントなど地域住民全体の参加促進に向け、今後真摯に検討し 協議を進めていく必要がある。 防災対策は春日部市の重要課題であり、自治会を中心とした地域の 発展を希望。</p>
委員	<p>中間報告を踏まえ、令和8年度は地域防災とイベント開催に取り組 む方針であるため、指摘のあった立地、距離の問題などの課題を 徐々に解決しながら進める必要がある。 令和8年度にまず二つの方針（地域防災の推進、イベント開催）から</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>なる取り組みを実施し、その後課題を把握・改善していくということであり、来年度の活動に向けて注力していきたい。</p> <p>富士見町の地下道周辺の自治会で、約350世帯が居住する地域を担当している。</p> <p>駅に近い立地であるが、地域行事への参加者がなかなか集まらず苦勞している。防災訓練は近隣4町会と合同で実施するなど努力しているが、依然として参加が厳しい状況。自治会単独での催し物の開催は難しく、近隣町会も巻き込んだ総合的な取り組みを進めようとしているなかで、粕壁市民センターでの取り組みがこうした町会活動の後押しになると期待。</p>
委員	<p>粕壁市民センターで多数のこども向けイベントが開催されていることに感謝している。また、市民センターまつりでは本校児童の作品が展示され、保護者からも好評であると報告を受けている。</p> <p>本年度の学校テーマ「学びをつなぐ」のもと、地域とのつながりを重視し活動しているが、地域の教育力を活かそうとしても情報の伝達が一部に届いていない課題がある。</p> <p>来年度以降、情報発信の工夫や距離的な問題への対応が必要と感じている。引き続き、地区内の小中学校と連携を図ることで、地域力の増進が期待される。</p>
委員	<p>昨今の自治会数の減少が防災上の問題にも直結するのでは。</p> <p>自治会未加入者へメリットを提示して参加を促進する方法を提案として、例をあげるとすれば、自治会費の減免制度（例：一年分の自治会費を7ヶ月分に減免）などのお得感、お得さを感じてもらえる方策を市と連携して提供するとよいのでは。</p> <p>その代わりに防災訓練への参加を条件とするなどし、同じ地域に住む人同士の交流を促進することで地域コミュニティの形成を目指す。</p> <p>そういった制度が定着した際には、徐々に優遇措置を減らし、自治会への参加自体が楽しいと思えるコミュニティ形成を目標としてはいかがか。</p>
委員	<p>粕壁地区はマンションや企業が多い地域であるため、イベントには自治会以外の住民の参加が特に期待される。</p> <p>情報発信の重要性を指摘し、市と連携してマンション住民や自治会未加入者、企業にも周知を徹底すべき。</p> <p>多くの参加者を募り、地域活性化につなげたい。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>粕壁地区は非常に広範囲であり、地域住民が中心の中央公民館まで来ることが難しい地域が存在する。</p> <p>現行の行政地区割り（23自治会）が適切かどうか、一度見直す必要があるのではないかと。</p> <p>市民センターの役割について、ハード面（施設）だけでなくソフト面（地域住民の協議や交流の場）としての活用も重要。</p> <p>具体例として、子どもの作品展示は春日部市内のほかの施設例えば、ハーモニー春日部でも可能ではないかと。</p> <p>地域づくり推進協議会活動は現在、市民センター事務局の職員支援に頼っているが、将来的には自治会自らが運営できる体制づくりが必要と考えている。今後は市職員の力に依存せず、自治会の自立運営力の向上を目指すことが大切では。</p>
会長	<p>中央公民館（粕壁地区センター）が場所的に遠く、集まりにくいという問題がある。</p> <p>個人的な提案として、巡回バスの運行や、遠距離地域への春バスの延長など交通アクセスの改善策を検討してほしい。</p> <p>会長としての立場からの意見としては、防災活動は今後も重要なテーマであり、市に全面的に依存せず、粕壁市民センター自体で運営や展開ができる体制を目指すべきと考えている。</p>
議長	<p>【6. 市長コメント】</p> <p>市長へコメントを求める。</p>
市長	<p>中央公民館は交通アクセスが良く、多くの団体が利用している重要な拠点である。</p> <p>将来的には、より広域的な地域住民が参加しやすい環境整備を目指す必要がある。</p> <p>自治会の課題については、市としても支援体制を強化しつつ、自立的な運営ができるよう後押ししたい。</p> <p>防災訓練や地域イベントは、住民の安全安心を確保するため欠かせないものであり、積極的に推進したい。</p> <p>市民全体への情報発信や参加促進には最新のデジタル技術（DX等）も活用し、効果的に進めていく考え。</p> <p>災害時に、地域住民の命を守るには、地域の皆さんの力が必要となる。職員も被災していれば、公共施設に即時に駆けつけられない。</p> <p>こうした状況下では、日頃からの防災の取り組みが重要であるため、粕壁地区地域づくり推進協議会での令和8年度の取り組みについて非常に期待をしている。</p>

